

# ダウトすごろく

イマザワ、ハシモト(今澤壮志、橋本侑樹)

## 解説:

ダウトすごろくを行い、2人の「正義/悪事/不信」のオートポイエーシスの分布を視覚化する

ダウトすごろく・・・サイコロで出た目を自己申告し、相手はそれを信じるか、もしくは疑い指摘する=ダウト

ダウトがなかった場合、正直に申告していた場合は普通に進み、嘘をついて申告していた場合は進み、かつマスの色を変える

ダウトが成功した場合、嘘をついた申告側は元の位置より下がり、嘘を暴いた指摘側は元の位置より進む


ダウトが失敗した場合、疑われた申告側はそのまま進み、疑った指摘側は元の位置より下がる


→詳細は後述


## 図の説明:

上側:正の方向に進んだもの


下側:負の方向に戻されたもの

 :正義(正直に申告して進んだマス)

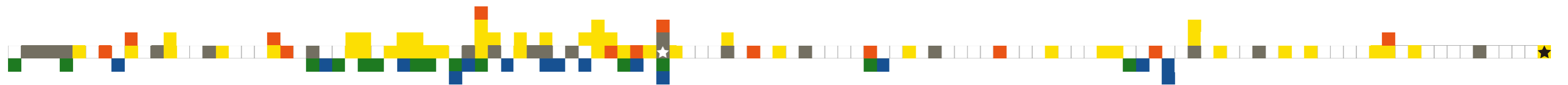
 :正義(相手の嘘を暴いて進んだマス)

 :悪事(嘘をついて進んだマス)

-----  
 :悪事(嘘がバレて戻されたマス)

 :不信(相手を信用できずに戻されたマス)

## 展開図:



# ダウトすごろく ルール説明

①2,3,4,5,x,xの6面のサイコロを使う

②出た目を自己申告する、このとき、嘘をついてもいい、また、xが出た場合は必ず嘘をつかなければならない

③相手は、その申告を真か偽か見極め、偽だと思う場合は「ダウト」と指摘する

④マスの進め方

ダウトが発生しなかったとき

申告側

ダウトでなかった場合は、普通に申告した数だけ上がる →1  
ダウトだった場合は、色を変えて申告した数だけ上がる →2

ダウトが発生したとき

申告側





ダウトだった場合は、申告した数だけ下がる →3  
ダウトでなかった場合は、普通に申告した数だけ上がる →4

指摘側

ダウトだった場合は、相手が申告した数と同じ数上がる →5  
ダウトでなかった場合は、相手が申告した数と同じ数下がる →6

⑤色の付け方






申告側

(1)ダウトと言われず、ダウトでなかった場合(普通にコマを進めるとき) →   
(2)ダウトと言われず、ダウトだった場合(ダウトが成功したとき) →   
(3)ダウトと言われ、ダウトだった場合(ダウトが失敗したとき) →   
(4)ダウトと言われ、ダウト出でなかった場合(信用されなかったとき) → 

指摘側

指摘が成功したとき(5) →   
指摘が失敗したとき(6) → 



 :正義(正直に申告して進んだマス)  
 :正義(相手の嘘を暴いて進んだマス)  
 :悪事(嘘をついて進んだマス)  
 :悪事(嘘がバレて戻されたマス)  
 :不信(相手を信用できずに戻されたマス)

